

氏名 石附 幸子 (西区)

1. 新潟市の人口減少について

若い世代の首都圏への人口流出により、新潟市の人口は減少しています。人口流出に歯止めをかけるため新潟市は具体的に何をすべきであると考えられますか。

要旨

新潟で働き、子どもを産み育てる施策を最優先

詳細

人口減少には死亡数と出生数の差による「自然減」と、流出数と流入数の差による「社会減」の2つの側面がありますが、私は徹底した子育て支援がこの問題を解決するカギとなると思っています。新潟で働き、新潟で子どもを産み育てることに魅力とメリットを、施策の最優先として実行し、だれにでもわかる形で示していくことが重要と考えます。

2. 若年層へ向けた政策について

18歳から30代の若年層に向けた政策についてお聞かせください。

要旨

若者が主体性ある社会の一員となる支援

詳細

若者が自尊感情を奪われず、使い捨てにされず、主体性ある社会の一員として最大限尊重され活躍できる新潟でありたい。そのために、学校における「労働教育」、新潟市版給付型奨学金の創設、ニート・ひきこもり・若者支援、ブラックバイトやブラック企業対策、創業・起業支援、元企業の魅力創造、保育・介護職員の処遇改善、多様性尊重、LGBT支援等々。

3. 若年層の政治への無関心について

若年層が政治離れする一番の理由として、誰がやっても変わらないという意見がありますが、どのように感じていますか。

要旨

余裕のなさ、無力感、希望の欠如

詳細

誰がやっても同じと言うのは私もわかります。その背景に次の3点があると考えます。

- ①政治が身近に感じられないということ。いい政治、いい政治家に出会っていない、今の生活で手一杯で余裕を持って政治について考えられないということ。
- ②ブラックバイト、多額の奨学金、非正規雇用、ブラック企業、若者の貧困等、希望が持てない中で、その問題を政治的と考える余裕すらない。
- ③幼い時から自分で考え、自己主張したり、自律的に行動することを良しとしない教育のもと育っているため、多くの若者は、自分で行動することで事柄が変わるという成功体験を持たずにいる。

4. 新潟市とSDGsについて

新潟青年会議所では本年度、私たちの考える明るい豊かな社会の実現のため、誰一人も取り残されない、持続可能な目標であるSDGsを推進していますが、SDGsの17項目のうちどの項目に力を入れて具体的にどのように取り組んでいきたいと考えますか。

要旨

貧困をなくそう

詳細

私自身の1番の関心事は「5. ジェンダー平等の実現」であり、この課題に関しては市民活動時代を含めて30年取り組んでいます。今回あえて聞かれたことにより「1. 貧困をなくそう」をあげてみます。特に子どもの貧困、母子家庭の貧困対策に取り組めます。具体的には「新潟市子どもの未来支援プラン～新潟市子どもの貧困対策推進計画」の実現性ある取り組みを進めます。

5. 中原市長の10の基本政策に対してどのように考えていますか。

10の基本政策のうち一つ選択し、お書きください。

要旨

子どもを産み育てやすいまち新潟～女性の自己実現を支援！

詳細

中原市長の政策を実現するにはやる気と予算と時間が必要です。私はそこにしっかりとコミットしていきます。

私は男女平等を進めることが子どもを産み育てやすい新潟のまちづくりに貢献するものと確信し、当事者のニーズに合った、使い勝手の良い制度設計になるよう常にチェックし、その上で改善を求めています。